



丸協にゅーす

- 丸協社内DXの歩み（配車連絡表）
 - 今、知っておきたい物流topics
- 『荷主と運送事業者には大きな認識のずれがあった』



2021.7 丸協にゆーす

丸協社内DX の歩み（配車連絡表まで）



（2020年1月）管理職みんなにノートパソコンを配ろう！

（2020年3月）全国拠点でZOOM（オンライン）会議ができるようになりました！



（2020年4月）稟議書のオンライン化で効率化できました！

（2020年4月）Teamsを使うようになりました！

Microsoft Teams



（2021年6月）「配車連絡表」をTeamsで共有できるようにしましょう！

配車事務作業効率化しました！

「配車連絡表」をTeamsにて各拠点間で共有しました。

FAXでやりとりしていた「配車連絡表」ですが、各拠点の配車担当と協議し、Teamsにて共有することにしました。

→FAXでは、発地と着地の2拠点のみの情報共有でしたが、今回Teamsにて共有することになり、全拠点での情報共有が可能となり、配車の幅が広がりました。

→ SDGs取組の一環としても、事務書類のペーパーレス化が進められ、FAXの手間もなくなりました。

→共有した情報をリアルタイムで閲覧・更新ができ、情報共有化がスピードアップしました！

今、知っておきたい物流topics

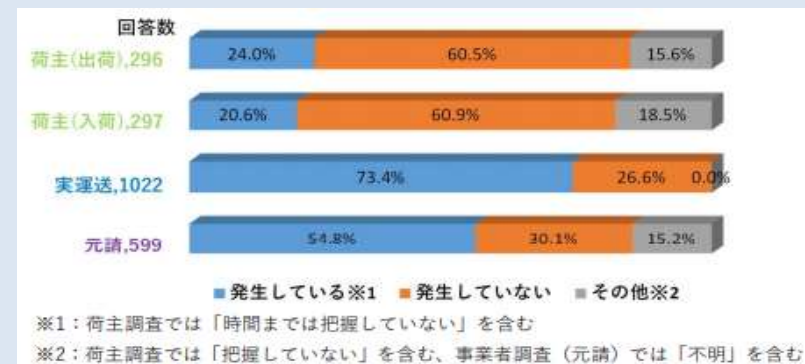
荷主と運送事業者には大きな認識のずれがあった

国土交通省が2021年に行ったトラック輸送状況の実態調査結果です。たとえば荷待ち時間について、荷主は2割発生と認識している一方、実運送事業者では7割が発生と認識がずれています。標準運送約款や改善基準告示については、「存在も内容も知らない」荷主が5割に達しています。運賃・料金の区分やドライバーの拘束時間の上限・取引条件等、もっと積極的に知ってもらうアピールが必要だといえるでしょう。

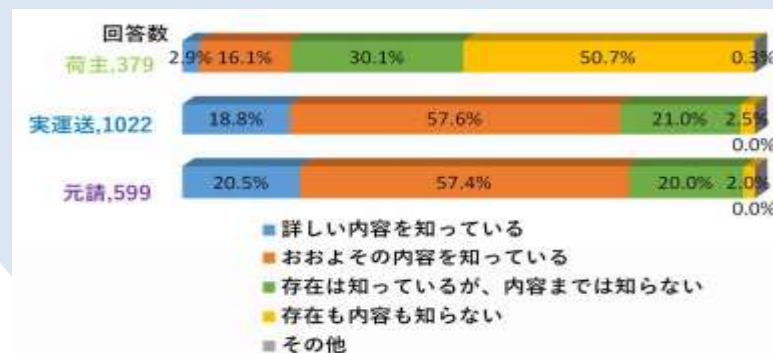
【時間指定の有無】



【荷待ち時間の発生有無】



【標準貨物自動車運送約款について】



【改善基準告示について】

